

芳賀赤十字病院 臨床研修ガイド

～ 可能性の“わ”を広げよう ～

芳賀赤十字病院

人間を救うのは、人間だ。 Together for humanity

芳賀赤十字病院の概要

- 設立母体：日本赤十字社
- 設立年月日：昭和24年7月1日
- 所在地：栃木県真岡市台町2461
- 病院長：岡田真樹
- 病床数：400床（人間ドック10床）
- URL： www.haga.jrc.or.jp

標 榜 科

内科

神経内科

呼吸器科

消化器科

循環器科

アレルギー科

リウマチ科

精神科

小児科

外科

整形外科

脳神経外科

皮膚科

泌尿器科

産婦人科

眼科

耳鼻咽喉科

放射線科

麻酔科

救急科

歯科

歯科口腔外科

(全 22 科)

患者数等DATA （平成23年度実績）

- 一日平均入院患者数 : 306.3名
- 一日平均外来患者数 : 580.5名
- 救急患者総数 : 9,205名
- 救急車搬送件数 : 3,765件
- 平均在院日数 : 14.5日 紹介率 : 64.2%
- 総手術件数 : 4,319件 (うち全麻 : 1,085)
- 分娩件数 : 336件 (ハイリスク分娩率 : 37.5%)
- 人工透析患者延べ数 : 7,763名

医師数と主な出身大学

- 総職員数： 554名（平成24年4月1日現在）
- 常勤医師数： 50名（歯科医師を含む）
- 指導医数： 37名
- 主な出身大学：自治医科大学、獨協医科大学、福島県立医科大学、埼玉医科大学、日本大学、山梨医科大学、旭川医科大学、岩手医科大学、山形大学、新潟大学、浜松医科大学、島根医科大学、鳥取大学、産業医科大学、富山大学、大分医科大学、宮崎大学、琉球大学など

医療機関指定状況等

- 救急告示病院（二次救急医療機関）
- 災害拠点病院※DMAT病院
- 地域周産期医療機関
- エイズ診療拠点病院
- へき地医療拠点病院
- 脳卒中地域拠点病院
- 肝疾患専門医療機関
- 神経難病医療ネットワーク推進事業基幹病院
- 日本医療機能評価機構認定病院
- D P C導入病院
- 地域医療支援病院

地域に信頼される病院であるために

- **病院理念**

「患者さま本位の医療を心とします」

- **基本方針**

- 1 人道、博愛の赤十字精神にのっとり、すべての患者さまの人権と意思を尊重した医療を提供します。
- 2 医学の進歩に伴う医療水準向上のために、常に自己研鑽に努め、最新かつ安全な医療を提供します。
- 3 地域の中核病院として、医療、保健、福祉の関係機関との連携を推進し、地域医療の発展に寄与します。
- 4 災害救護活動に積極的に参加し、社会に貢献します。

医療圏と当院の特徴

- 栃木県真岡市を中心とする、芳賀郡市1市4町15万人の住民の、**唯一で最大の医療機関**
- 一次および三次医療機関との連携が良く、月平均300件を超える救急車搬送患者を受入れる急性期病院（**医師一人当たりの受入数県内1位**）
- 特に、ハイリスク分娩・低体重児等の周産期にかかる比較的高度な医療を提供している**周産期医療機関**（ハイリスク分娩率37.5%）



周産期医療

小児科・産婦人科・
麻酔科の連携



災害救護 国際救護



スマトラ沖地震



災害救護訓練



東日本大震災

病診連携 懇話会

院外の先生方を交えた
症例報告会



芳賀赤十字病院の 初期臨床研修の目標

医師である前に一人の人間であることを意識しながら、医師としての人格・技術を涵養し、将来の専門性にかかわらず、地域に暮らす人々の医療ニーズに応えながら、日常診療で頻繁に遭遇する病気や病態に適切に対応できるよう、プライマリ・ケアの基本的な診療能力を身につけ、さらに、患者の意思を尊重し安全な医療が提供できる、全人的な診療能力を持った医師を養成する。

指導責任者と連携施設（病院）

- 研修管理委員長 村上 善昭
- プログラム責任者 林 堅二
- 連携施設（病院）
 - 精神科：自治医科大学附属病院、市中病院
 - 臨床病理検討会：自治医科大学附属病院
 - 地域医療：県内保健所、地域の診療所、芳賀赤十字訪問看護ステーション

プログラム一覧

- 芳賀赤十字病院初期臨床研修プログラム A
基本的なことをしっかり学ぶ目標達成率の高いプログラム
- 芳賀赤十字病院初期臨床研修プログラム B
プライマリ・ケアと専門医療を効率的に学ぶプログラム

プログラムの特徴（P G－A）

- 内科系、消化器系、外科系、救急・麻酔、周産期を病棟ごとに8グループに分け、厚生労働省の**研修目標の90%（卒後研修の第三者評価機構実施の評価病院平均値）を充分到達できる構成。**
- ローテート研修ですべてのグループに指導医講習会修了の指導医を配置し**病院全スタッフがサポート**

2年間の研修スケジュール（P G－A）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科系 （循環器・呼吸器・一般）			内科系 （腎臓・内分泌・血液・一般）			消化器系（消化器内科・消化器外科） 一般外科・泌尿器科			救急・麻酔		
2年次	外科系 （整形）	外科系 （脳・耳・歯）		周産期 （産婦領域）	周産期 （小児領域）		精神	地域医療・保健		選択	選択	選択

※研修の比重をどこの症例群におくか、指導スタッフと研修医とで決める。

※研修医のニーズに柔軟に対応するために、ローテーションを多様化。

グループ	消化器系 (南館4階)	
診療科等	消化器内科、消化器外科、外科一般、泌尿器科	
研修期間	3月	
指導医数（指導医講習会受講者）	2	
指導スタッフ・サポート スタッフ （研修の比重をどこの症例群におくか、指導スタッフと研修医とで決める）	第一外科部長 消化器内科副部長 放射線科部長 病棟・外来・手術室看護師 薬剤師 臨床検査技師 がん化学療法認定看護	第二外科部長 麻酔科部長 医員 内視鏡室スタッフ 放射線技師 MSW 皮膚・排泄ケア認定看護師
研修資源	外科内科合同症例検討会 乳腺外来 形成外科外来 スキンケア外来 化学療法委員会 アロマテラピー、リラクソロジー看護外来	化学療法外来 小児外科外来 呼吸器外科外来 緩和ケアチーム NST委員会

ローテーションの柔軟性

1年目													2年目													
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
A医師	内科系 (中5・北5)			消化器系 (南4)			外科系 (整形)	外科系 (脳・ 耳・歯)		内科系 (中5・北5)			救急・麻酔 (救外・Ope室)			産婦・ 眼 (中3)		小児 (南3)		地域医療		精神	選択	選択	選択	
B医師	内科系 (中5・北5)			内科系 (中5・北5)			救急・麻酔 (救外・Ope室)			消化器系 (南4)			外科系 (整形)	外科系 (脳・ 耳・歯)		地域医療		精神	産婦・ 眼 (中3)		小児 (南3)		選択	選択	選択	
C医師	消化器系 (南4)			救急・麻酔 (救外・Ope室)			外科系 (整形)	外科系 (脳・ 耳・歯)		内科系 (中5・北5)			内科系 (中5・北5)			精神	地域医療		小児 (南3)		産婦・ 眼 (中3)		選択	選択	選択	
D医師	救急・麻酔 (救外・Ope室)			消化器系 (南4)			内科系 (中5・北5)			内科系 (中5・北5)			地域医療		精神	小児 (南3)		産婦・ 眼 (中3)		外科系 (脳・ 耳・歯)		外科系 (整形)		選択	選択	選択
E医師	消化器系 (南4)			内科系 (中5・北5)			内科系 (中5・北5)			救急・麻酔 (救外・Ope室)			小児 (南3)		産婦・ 眼 (中3)		外科系 (脳・ 耳・歯)		外科系 (整形)		精神	地域医療		選択	選択	選択

プログラムの特徴（P G－B）

- 基幹病院を芳賀赤十字病院とし、1年目を芳賀赤十字病院で研修し、**2年目研修は、自治医科大学附属病院で研修することができる。**
- 選択期間の研修は、研修医の希望を確認し当院と自治医科大学附属病院と相談し決定する。

2年間の研修スケジュール（PG-B）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1 年次	内科系 (循環器・腎臓・呼吸器・血液・一般)						消化器系 (消化器内 科・消化器外科) 一般外科・泌尿器科			救急・麻酔		
2 年次	地域医療	選 択										

※当プログラムは、現在厚労省で審査中である。

※選択期間の研修は、研修医の希望を確認し当院と自治医科大学附属病院と相談し決定する。

※研修目標達成のため小児科、産婦人科、精神科を1ヶ月以上研修することを推奨する。

芳賀赤十字病院の 初期研修のポイント

- 地域で唯一の2次医療機関であるため、数多くの幅広い症例を経験できる。
- 診療科間の連携が良いため、たとえば内科で研修中にも外科や整形外科の指導が受けられる。
- 1次医療機関および3次医療機関との連携が良いため、患者さんを断片的ではなくトータルに診ることができる。

すなわち、専門的な知識や技術を吸収しつつ、多くの患者さんをいろいろな視点から総合的に診療することが可能。

研修医からのメッセージ

研修病院の選択に際し、

- ①大学病院以外の地域の基幹病院であり、**救急の症例が多い**
- ②**小児科、産婦人科が機能している**
- ③**大学病院（医局）との関係が良好である**
- ④**病床数に対して研修医の数が多過ぎない**

等を基準
に当院を選択しました。①②に関しては、基本的な知識・技術を幅広く身に付けるためには、**専門が細分化されている大学病院よりも、民間病院や赤十字病院のような公的病院の方が適している**と思います。少なくとも、学生実習の延長のような感じで見学だけ、ということはありません。私は小児科、産婦人科志望ではありませんが、専門医になったときに専門外の患者様を適切に専門医に紹介できることと、**専門外でも必要最小限の診断・治療ができることが重要**と思います。

（平成22年3月修了）

将来設計に応じたサポート

卒年次	身分	研修方法	研修プログラム及び指導体制
1年次	初期研修医	厚生労働省認定カリキュラム	いわゆる厚生労働省の到達目標に達することを目標に、ローテーション毎に指導医が指導する。
2年次			
3年次	後期研修医	専門研修あるいは、関連診療科ローテーション研修	卒後3年目以降専門医を目指す医師を育成するための専門指導
4年次			
5年次			
6年次	医員	●当院のスタッフとして勤務継続可能 ●関連大学への入局支援 ●赤十字・市中病院への推薦、あるいは、研究・留学・開業など、将来設計に応じた選択は可能	

処 遇 等

- 身 分：研修医（常勤嘱託職員）
- 募集定員：5名
- 研修手当：1年次400,000円（税込み）
2年次450,000円（税込み）
- 賞 与：有
- 当 直：月平均3回程度
- 休 暇：有給休暇1年次15日、2年次21日
（夏期休暇、その他の休暇は、院内規程により付与する）
- 社会保険等：健康保険・雇用保険・厚生年金
・年金基金等加入
- 宿 舎：無 ただし、借家手当あり（上限28,500円）

研修環境

- Medline等の文献データベース：有
図書室は24時間利用できます。

専任の職員が、文献検索のお手伝いをします。

また、リラックスできる美味しいコーヒーが頂けます。



研修環境

- 研修医専用室有
- デスク、電子カルテ端末は、個々に貸与されます。
- 学会、研究会への参加：
可 参加費用支給有
- 健康管理：健康診断年1回実施
メンタルヘルスサポートシステムを導入しています。



研修医修了式

～災害救護活動も
してきました！！～



プライマリケア勉強会

日常で役立つテーマを用意しています。ちょっと早起きして、朝活しましょう！！

- ・ 開催日時

隔週 水曜日

午前7時30分～（30分程度）

- ・ 対象者

研修医、医師、コメディカル
を始めとする医療従事者

医療技術系の学生、その他興味のある方



～ 主なテーマ ～

心電図の読み方

呼吸器感染症について

小児の喘息治療について

結膜炎について

吐血・下血について

消化器検査所見の考え方

関連学会認定状況

- 日本救急医学会救急科専門医指定施設
- 日本産婦人科学会専門医制度専攻医指導施設
- 日本麻酔科学会麻酔科認定病院
- 日本整形外科学会専門医研修施設
- 日本外科学会外科専門医制度修練施設
- 日本脳神経外科学会認定医指定訓練施設
- 日本泌尿器科学会専門医教育施設
- 日本乳癌学会認定医・専門医制度教育関連施設

関連学会認定状況

- **日本大腸肛門病学会専門医修練施設**
- **日本小児科学会小児科専門医制度研修施設**
- **日本小児循環器専門医修練施設群認定施設**
- **日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度新生児専門医暫定研修施設（補完）**
- **日本周産期・新生児医学会周産期専門医制度母体胎児専門医指定研修施設（指定研修施設）**

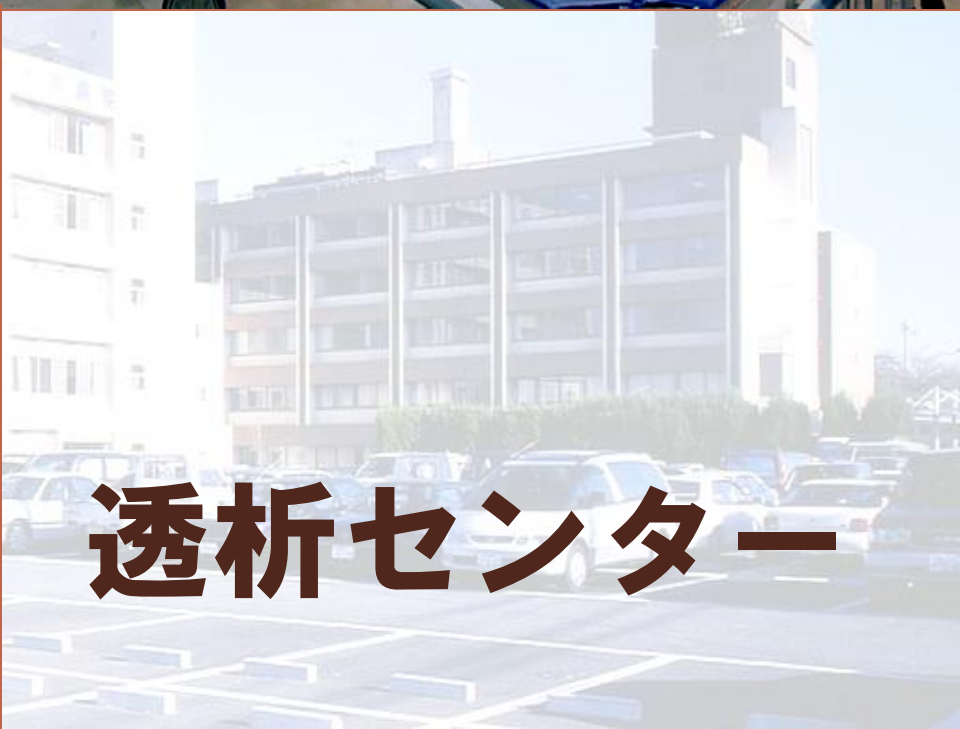
関連学会認定状況

- 日本消化器外科学会教育関連施設
- 日本循環器学会専門医研修関連施設
- 日本内科学会教育関連病院
- 日本透析学会教育関連施設
- 日本消化器内視鏡学会専門医指導施設
- 日本感染症学会連携研修施設
- 日本口腔外科学会関連研修施設
- 日本小児口腔外科学会研修施設

関連学会認定状況

- 日本呼吸器内視鏡学会専門医制度関連認定施設
- 日本呼吸器学会関連施設
- 日本消化器病学会研修関連施設
- 日本外科感染症学会外科周術期感染管理教育施設

救急室



透析センター



リハビリテーション センター



PTA治療



内視鏡検査



訪問看護



巡回診療



カンファレンス

